

活動実施報告書(令和4年度)

名称: 草牟田幼稚園

所在地: 草牟田2丁目20番15号

電話番号: 099-222-6443

E-mail: soumuta@theia.ocn.ne.jp

代表者: 高山 達也

担当: 永吉 智子

1学期:野菜や植物を栽培しよう

取組内容

- ・都市農園にある畑にさつま芋の苗植えをした。
(3歳児以上)
- ・園庭の花壇にもサツマイモを植え、身近で生長を楽しんだ。
(全園児)
- ・園庭のポットで野菜を植え、お世話をした。
(年長)

取組結果・感想等

- ・園庭に野菜を植えることで、全園児が生長を見守ることができた。食べ物を育てる意識を持ち、生長していく過程を知ることができた。
- ・お世話をしたいと気持ちが芽生え、クラスに関わらず草を取ったり、水をかけたりしてよく様子を見ていた。できた野菜をいち早く見つけ、先生に教えに行っている姿がよく見られた。実がなる喜びを味わっていた。
- ・園にあるサツマイモで畑のイモの生長を描きながら想像を膨らませていた。

活動の様子(写真等)



サツマイモの苗植え



野菜のお世話



2学期:給食を残さず食べよう

取組内容

- ・園の畑で採れたサツマイモや野菜を給食に出し、大切に育てた野菜をみんなで頂いた。
- ・配膳する前に、少なくする人は手を挙げ、自分の食べられる量にする。残食が出ないようにした。
- ・季節の行事等を通して、食べ物の有難さに感謝する。

取組結果・感想等

- ・園で栽培したサツマイモや野菜を給食で出し、大切に育てたものを残さず、おいしく食べられるように伝えた。子どもたちは、いままで以上にご飯の材料に興味を持って見ていた。
- ・自分の食べられる量を知り、残飯をなくすことに努め、全部食べられたらお代わりをするように、子ども自身で判断できるように促している。

活動の様子(写真等)



お芋ほり



サツマイモを使った給食



十五夜のお供え物に興味津々の子どもたち

3学期:身近な資源を大切にしよう

取組内容

- ・手洗い・うがいをする時、水や手洗い石鹸の適量を知る。
- ・廃材を使って制作を楽しみながら、再利用できることに興味を持つ。

取組結果・感想等

- ・手洗い・うがいをする時、どれくらいの量で手を洗えるのか、水の出っぱなしに気を付けるなど、だんだん実践できている。今後もみんなで声を掛け合いながら必要な量を意識していけるようにしたい。
- ・いつもは捨てる食べ物の容器や箱等を家から持ちより、お店屋さんごっこの品物作りをした。いろいろなイメージを膨らませ、廃材の形や素材を感じて物作りを楽しんでいた。これからも物のリサイクルを意識しながら表現を楽しんでほしい。

活動の様子(写真等)



廃材を使って
お店屋さんごっこの品物作り



お店屋さんごっこ



手洗い
水・石鹸の量はどうか？

1年間取り組んだ感想

- ・限りある資源を無駄使いしないように、子どもが理解するには難しい面もあるが、まずは身近な水の大切さを伝えている。また、廃材を使う制作（物を大切にする・リサイクルをして物を活用する）活動を楽しみながら取り組んでいる子どもたちの姿があった。
- ・一年を通して、数種類の野菜（サツマイモや大根・玉ねぎ）栽培をしている。自分たちで植えたり、お世話をしたりすることで様々な食材に興味が出て、食べてみようという気持ちが芽生える。他の食べ物も生産者さんがいて自分たちのところへ来ている・多くの命を頂いていることを知り、残さず頂くという意識に繋がっているように思う。
- ・年中・年長組になると、多くの面で自分の適量を判断できるようになる。自分だけでなく友達に伝えることで、みんなで取り組んで子どもたちもできるエコ活動になっていくので、全体に意欲的に取り組めるようにしていきたい。